

# 学校だより 10月

令和2年9月30日 横浜市立芹が谷南小学校



## 創立記念日に ～開校から校章・校歌に込められた願い～

学校長 高木 篤子

### 昭和48年(1973年)10月15日 開校

芹が谷南小学校「開校宣言」により、芹が谷小学校から分かれ、児童708名・20学級で本校の歩みがスタートしました。校舎建設は昭和47年12月に開始されてから時間を要し、翌年10月にきれいな校舎が完成しました。当初はまだ体育館がなく、開校式は5年生以下が屋上に整列して行い、式典は6年生が参加して集会室と呼ばれていた今の職員室で行われたそうです。

その後、地域の開発が進むとともに児童数が増え、昭和54年には児童1281名・32学級となりました。この年の9月に平戸台小学校が開校し、1年生から5年生の児童409名と教職員10名が移りました。



### 昭和49年(1974年)10月 校章制定

創立1周年を記念して、校章が出来ました。三つの菱形は「健康で明るい子」「進んで学び実行する子」「やさしく豊かな心の子」を意味し、中の三角形は児童・職員・地域が一丸となって目標に向かって努力する姿を表しています。同心円の中央は学校、その中に児童・職員、次の円は家庭、その次の円は地域社会。これらにあたたかく抱きかかえられ存在する学校の姿を表し、3枚の葉は芹が谷の自然を意味しています。

校章の意味から、改めて、学校の目指す子どもの姿、学校と家庭と地域とのつながりを認識することができます。

### 昭和58年(1983年)10月 校歌制定

創立10周年の記念に、校歌がつくられました。「緑やさしい野の風に 夢がふくらむ丘の上～」で始まる作詞は本校3代校長 中島直孝氏、作曲は元上永谷中学校音楽教師 山本繁司氏です。美しい風景の描写に、未来への夢や望みを重ねています。楽譜の冒頭に「生き生きと希望にみちて (♩=120)」という表現の仕方が記されていて、これからも全校で校歌を歌うとき、意識していきたいと思います。

校歌に加え、子どもたちが作って歌い継がれてきた「芹が谷南みんなの歌」の一節に、「ここでぼくらは人に出会った ここでぼくらは大きくなった～」とあります。出会いのよさ、心と体の成長を実感しながら学校生活を送ってほしいと願っています。

創立記念日に向けて、10周年・20周年・30周年・40周年・45周年記念誌を開き、本校の歩みを振り返りました。いつのときでも、子どもたちの生き生きと活動する姿と笑顔が学校の歩みを進める原動力となり、未来の創造へつながることでしょう。